

2021年5月17日

各位

株式会社クシムソフト

ZaifHoldings とのパートナーシップ確立による「暗号資産マーケット」向けシステム開発の需要拡大

株式会社クシムソフト（本社：東京都港区、代表取締役社長：中川博貴、以下「当社」）では、株式会社 ZaifHoldings（本社：東京都港区、代表取締役社長：八木隆二、以下「ZaifHD」）とのパートナーシップの確立のために ZaifHoldings の株式を購入し、暗号資産マーケット向けのシステム開発需要を拡大していくことをお知らせいたします。

当社は、これまで暗号資産関連のシステム開発に携わり、システム需要拡大と共にプロジェクトチームを急速に拡大してまいりました。開発のレイヤーとしては、暗号資産取引所を運営するにあたっての各種サービスでの利用者側向けシステム画面の開発や、サービス提供者側向けのデータ確認用システムの開発に携わってまいりました。

具体的な実績ですが、2021年2月より暗号資産取引サービス「Zaif Exchange」のプロジェクトに対して当社メンバーの参画と増員を続けております。さらにその他の実績として、当社の親会社である株式会社クシム（以下「クシム」）の2021年4月28日のプレスリリース^{*1}にある、「フィスココイン（FSCC）のレンディングアプリケーション開発」においても2020年12月より参画しており、クシムの資本業務提携パートナーであるチューリング株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：紅谷陽介、以下「チューリング」）との開発体制を築き、すべての開発を完了いたしました。

暗号資産マーケットにおいては、取り扱う暗号資産の増加や取引所利用者の急増に伴い、システム需要の拡大は今後も続く見通しです。システムリリース後にはその運用保守、ならびに利用者からの問い合わせ対応等、多岐に渡る需要拡大も見込まれます。

こうした経緯から、当社は、暗号資産取引サービス「Zaif Exchange」を運営する株式会社 Zaif（本社：東京都港区、代表取締役社長：八木隆二）を傘下に保有する ZaifHD とのパートナーシップを強化し、システム開発需要の拡大に当社エンジニアが迅速にこたえる体制を整え、さらには、これから拡大が見込まれる運用保守や利用者からの問い合わせ対応などにおいても当社の IT 総務サービスが利活用されるよう、あらゆる需要の拡大に迅速に対応していく体制を構築してまいります。これまでに協力体制の実績があるチューリングとの連携は継続することで、暗号資産マーケットにおいてスピーディかつ高品質のシステム開発とその後のすべての運用においていかなる需要拡大局面にも対応出来る体制を準備してまいります。

なお、当取り組みは、クシムからの2021年2月17日のプレスリリース^{*2}にもある通り、クシムグループの全社戦略の一つであり、これからも国内外の暗号資産交換事業者に向けた実績を重ね、企業価値向上に努めてまいります。

今後とも当社ならびにクシムグループの取り組みにご期待ください。

※1 クシム 2021年4月28日付プレスリリース

フィスココイン (FSCC) のレンディングアプリケーション開発完了のお知らせ

https://www.kushim.co.jp/hubfs/kushim/ir/documents/pr_20210428.pdf

※2 クシム 2021年2月17日付プレスリリース

暗号資産を対象に API 連携による自動トレーディングシステムの開発に着手

https://www.kushim.co.jp/hubfs/kushim/ir/documents/pr_20210217.pdf

【当件の問い合わせ先】

株式会社クシムソフト

ソリューション開発事業本部 担当：青木

受託開発事業本部 担当：綿貫

03-6826-1235 (東京本社)